

会議記録

令和4年10月18日

●会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第7回 吉見・鴨庄・三輪地域部会

●日時 令和4年10月17日（月）19:30～21:00

●場所 ライフピアいちじま 研修室

●出席者 委員：木寺章、瀧上利美、由良英樹、加藤宏生、松本和樹
波多野真由奈、宇佐美大介、坂谷幸久、若林久美子、足立圭造
内田順子、中澤正樹、田野悟
教育総務課：足立次長、船越係長、畑中、小田
学校教育課：谷川副課長

●協議事項 三輪小学校の統合の時期について

第7回全体会で事務局が持ち帰り検討することとしていた、2校統合を進める場合に可能となる施設整備について事務局から説明があり、委員の意見を伺った。

【意見等】

《吉見小学校の施設改修について》

- ・吉見小学校の校舎を実際に見学に行ったが、教室が狭く感じた。30人以上の学級数を想定して作られているのかも疑問に思う。
 - ・美和地域の児童だけこども園を卒園した後に別の学校に行く状況が続くのはかわいそう。
 - ・多目的教室を普通教室に転用する案が出されているが、現在、その教室は不登校児童が使用する部屋でもある。昨今の学校の課題も様々な中で通級教室などで使用する部屋も必要になる。3校が一緒になるということは対応が必要な課題も増えることも予想される。多目的教室は余分な教室ではなく使用している教室だと理解いただく必要がある。
 - ・35人近い学級数になるとそれを二つの教室に分けて授業を実施することも多いため、教室数に余裕がない学校では良い教育環境を確保できないのではないかと心配している。
 - ・提案されている教室数では絶対に部屋が足りない。不登校児童や通級教室に加え、保護者と面談する部屋も必要となる。
 - ・余剰教室がないと、急遽児童数が増えて教室が必要となったときに対応できない。
 - ・吉見小学校の教室の広さは一応規定通りに作られているはず。市内の他の小学校でも狭い教室の中で授業を行っている学校もある。
 - ・1校統合を先送りにした場合、施設改修をして三輪小学校児童が吉見小学校に入れるようになるのは最短で何年後になるか。
- 通常だと設計で1年、工事で1年を要し2年程度で完了できるが、話題にもあがっているように吉見小学校は学校敷地が狭く、難しい工事になった場合はさらに時間を要する。また、市内の他の学校も改修を予定しており、工事の時期については調整が必要となる。（事務局）
- ・学校現場にいる立場から見ても、敷地が狭く、増築の方法次第では駐車場がなくなったり、登下校で児童が通るスペースが無くなる恐れがあると感じている。スピードだけを意識して改修するのではなく、十分な時間をかけて検討する必要もあると思う。
 - ・三輪小学校の保護者は人数が増え、現在のように目の行き届いた教育ではなくなる可能性がある点についてはどう考えているか。
- 保護者からすると、自分たちの小学校時代よりも現在は少人数学級等で手厚い教育を受

けられていると感じている。30人を超えるような規模になっても少人数授業用の部屋などを設けてもらえるなら、問題はないと感じている。

《1校統合について》

- ・鴨庄小学校と前山小学校の統合では複式学級が見込まれることから統合を進めてきたが、三輪小学校は現在の適正規模・適正配置方針では統合をする基準にない。しかし、これまでの議論の中で、市島地域の特色ある教育として、「こども園単位」の統合を目指して進めている側面がある。そのような経緯から各委員は「1校統合」はあまり意識していないように感じている。
 - ・恐らくこの場にいる委員の多くが2校で進めていきたいと考えていると思うが、1校にすることができたこのタイミングで1校統合を見送ることを少しもったいなく感じる。
 - ・1校統合を目指したとして、実現するのはかなり先になると聞いている。1校統合に関するそれぞれに認識が違っているため、具体的な時期を示してもらわないと協議を深めるのは難しい。
 - ・竹田・前山地域部会では1校統合を「凍結」という表現が使われているが、2校統合を実施した後に条件次第では1校統合の協議を再開してもらえるならこの部会でも見送る形でいいと思う。
 - ・1校統合は「凍結」し、今後は2校統合を進め、将来的に複式学級が見込まれる場合に1校統合を再開する形でよいか。
- 3校区が統合した後、複式学級が見込まれるのは相当先になり、その間で教育を取り巻く環境も大きく変わる可能性もあるため、「複式」という表現にこだわる必要はないのではないか。
- 「凍結」という表現も適切なのか疑問が残る。状況によって統合を再開するというような表現の仕方でもよいのではないかと。
- ・ただ、提案するのではなく、1校統合ではなく2校統合を進めるに至った理由やコンセプトを示したうえで提案をするべき。
- ⇒1校統合については2校統合を実施した後に状況に応じて協議を再開することとする。

【決定事項】

- ・1校統合は2校統合を実施した後に状況に応じて協議を再開する。

●その他

- ・次回日程 未定